

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市将監児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 24,556人 (前年度比 95.5%) 平成29年度 25,709人 平成28年度 23,649人 平成27年度 20,913人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 31,580千円 (29,133千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) ()は前年度決算額
		《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。
6	利用者の声	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童館を拠点に活動する子育て支援クラブや人形劇サークルの自主活動を支援し、連携した活動から育成支援の充実を図っている。子育て支援クラブの活動においては、児童館利用の保護者が新たな加入につながるなど、参加者の交流を促進しながら継続的な活動が行われている。また、団体間の連携が広がり、世代間交流の機会にもつながっている。児童クラブでは、遊びのルール決めに子どもが関わる機会を設けるほか、集団生活における役割分担、生活の区切り等から子どもが見通しを持って主体的に過ごせるよう援助している。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》	
<p>「地域や子どもたちの状況に応じ、つながりを大切に魅力ある活動を通して、親しまれる児童館を目指す」を重点目標に掲げ、地域や子どもたちの状況を考慮に入れて事業を進めています。地域の特徴としては、全体として少子高齢化が進む中で、乳幼児、小中学生の多くが新興の「将監殿」地区に集中していることが挙げられます。そうした特徴を踏まえながら、子育て支援事業では、将監地域全体を視野に入れて、将監児童センター、将監西児童館と三館連携事業を積極的に行っており、そのうち「将監殿」の乳幼児親子対象「出張にここ」の参加者が年々減少傾向のため、活動の見直しをしています。そのほか、隣接のコスモス将監保育園やサンホームと連携した行事や、子育て支援クラブ、人形劇サークルなど本館を拠点として活発な活動をしている団体と共催行事を行い、好評を博しています。</p> <p>地域交流推進事業では、市民センター祭りやふれあい健康祭りなどで、レクダンスクラブが発表し、地域の方々と交流しています。レクダンスクラブは、その存在が地域に浸透し、多くの発表の機会をいただき、地域と児童館をつなぐ重要な役割を果たしています。また、地域の高齢者の指導で、グランドゴルフ大会(雨天時はバッコ)を市民センターと近隣児童館の連携のもと実施し、地域住民と交流しています。</p> <p>児童健全育成事業では、既設のレクダンスクラブに加えて、いもクラブを設置し、苗の植え付けから収穫までの栽培活動に加えて、焼き芋会を実施し収穫の喜びを味わっています。</p> <p>放課後健全育成事業では、様々な遊びや生活のルールを子どもたちにも考えさせ話し合わせることで、自主性を培うとともにルールの「見える化」を心がけるなど、一人ひとりが楽しく生活できるように子どもたちの目線に立って児童クラブを運営するようにしています。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童発達支援センター「サンホーム」と併設である特色を生かし、定期的な情報交換などから連携を深め、保護者が気軽に相談できる場や利用者同士の交流の機会を提供している。発達に応じた乳幼児の活動や保護者のリフレッシュ行事等を定期的・継続的に実施することにより、子育て世帯の交流の促進に努めているほか、近隣保育園との相互交流や、乳幼児親子が多い地域への移動児童館などを実施し、子育てしやすい地域づくりに取り組んでおり評価できる。</p> <p>小学生スタッフが、主体的に企画・運営に関わり乳幼児親子と交流する「ちびっこまつり」の活動を支援し、利用者同士の交流を図っている。継続した「レクダンス」の発表活動を通して地域との連携を深めているほか、おやじの会、町内会等の協力を得ながら児童館まつりを実施するなど、地域と連携した運営に取り組んでいる。また、土曜日の親子行事の実施により、親と子の交流促進や地域との関わりにつなげている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室